



こども新聞 しんぶん

おおのこ 大野つ子

58.12.15

第4号



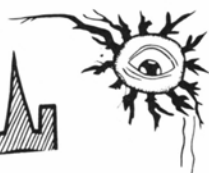
親子で 楽しいひととき



第三回こども芸術劇場は十一月十二日、市民会館で開かれました。
今回は大野演劇なかま「チャップス」のみなさんによる手作り劇で「にげ出せバケツチヨ山」。
台本から衣装・道具と、すべてお兄さんやお姉さんたちが数カ月前から取り組んできたものです。
公演は午前と午後の二回あり、どちらもお母さんや友達といっしょに来た人たちでいっぱいになりました。こわいおばけの登場にはみんなドキドキしながらも、楽しいひとときを過ごしました。

にげ出せ

バケツチヨ山



ちびっ子記者が取材

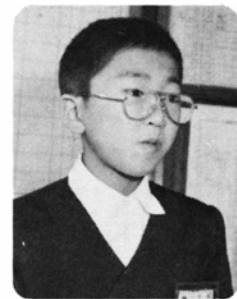
くらしの安全を守る消防署



消防署の全景

みなさん、消防署を見学したことがありますか。

いろんな災害から私たちを守ってくださる消防署。建物の中はどのようになっているのか？



古瀬謙一郎君

人が無事か確かめ

素早く消火

古瀬・竹田 こんにちは。きょうは消防署のことについて、いろいろと教えてもらいに来ました。よろしくお願ひします。

署長 ようこそいらっしゃいました。どんなことでもいいですから、気軽に質問してください。

建物の中などは、後で説明しましょう。

古瀬 消防署では、主にどんな仕事をしていますか。

署長 消防署の主な仕事には、まず、火災予防の仕事があります。火を使っている場所や器具が安全かどうかを調べたり、油

やガスを正しく使うように、ポスターやチラシなどで市民に呼び掛けたりしています。

それから、火災が発生した場合の救急や消火の仕事があります。もし火事になったら、どうしたらよいかということで、消火訓練や避難訓練などを、毎年いろんな所でやっています。

竹田 そういえば、ぼくたちの学校でも避難訓練をやりました。どれもぼくたちの生活を守るための大事な仕事なのですね。

古瀬 火災が発生したときは、どんなことに気を配りますか。

署長 1分でも早く火事の現場へ行くために、交通安全に気を配ります。現場へ着いてからは、その家の人や近所の人が安全かを確かめます。

それと同時に、損害を少なくするために、少しでも早く火を消すようにします。



質問に答える巻寄署長さん

1年間に火災15件

5,000万円も灰になっています

ふだんどのような仕事しているのかなど、有終西小学校4年生の古瀬謙一郎君と竹田雄次君に取材してもらいました。説明は巻寄署長さんです。

竹田雄二君



一番多いのは、かまどから

竹田 市内では、1年間にどれだけの火災が発生していますか。
署長 これまでの10年間を平均すると15.3件発生しています。
そして、燃えて灰になってし



今年、市内で発生した火災

の火遊びが8件という順になっています。

全国的には、たばこの不始末が一番多く、次にたきびや子供の火遊びが多いんですよ。

竹田 火災を起

まった家やタンスなど、大切な財産の損害額は、平均5,000万円にもなります。

古瀬 火災の原因は、どんなことが多いのですか。

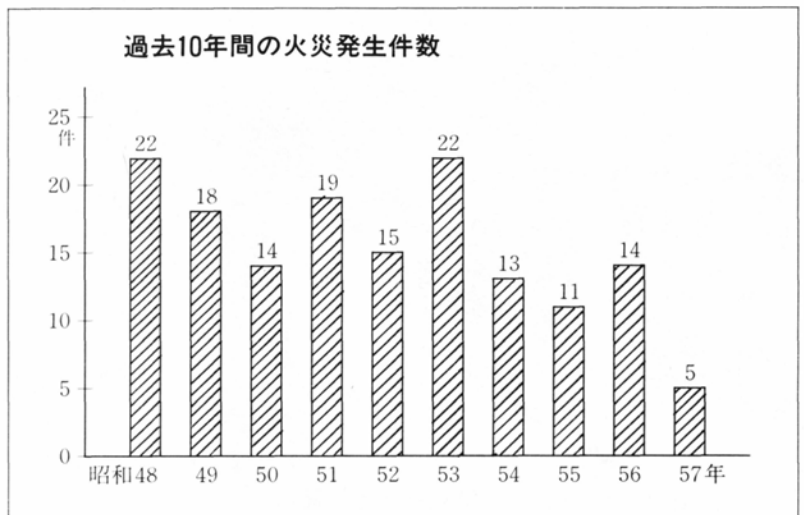
署長 一番多いのは、かまどの火で10年間に20件ありました。

次に、石油ストーブの取り扱い不注意が14件、たばこの不始末が13件、たきびが10件、子供

こさないようにするには、どんなことに注意したらよいのですか。

署長 子供は、マッチやライターを使わないことですね。それに、もし火災が起きたら、一番先にだれが何をするか、どのように避難するかなどを、家族みんなで話し合っておくのも大切なことです。

過去10年間の火災発生件数



きゅうきゅうしゃ ばん
救急車も “119番”

できるだけ詳しく知らせよう



急病人を運ぶ救急隊員

古瀬 防火や消火のほかに、救急の仕事があると言われましたが、救急車は1年間に何回ぐらい出動していますか。

署長 去年は、418回出動しています。その半分以上が急病と交通事故で、急病が158回、交通事故が106回となっています。

竹田 救急車には、どんな物が備え付けてありますか。

署長 まず、救急車は、急病人

やけが人を少しでも早く病院などへ連れて行くためにあります。

だから、病気やけがの応急手当をするために、脈はく計・ギブス・担架などが備えられています。

古瀬 救急車は、どんな場合に利用できるのですか。

署長 火事・交通事故・急病などで命が危なかったり、ひどい

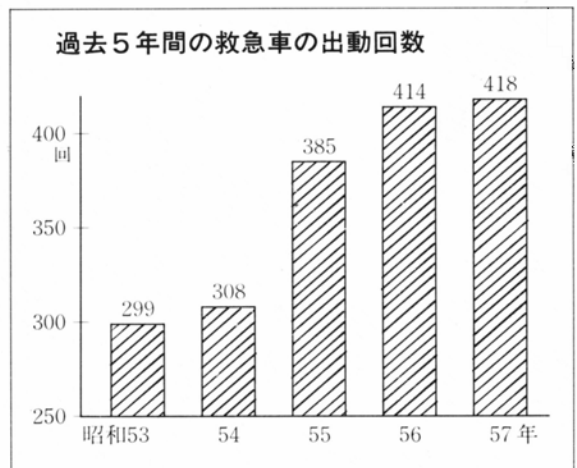
けがをしたときなどに利用できます。ちょっとしたけがや病気の場合は、自分で病院などへ行くようにしてください。

竹田 利用する場合、どんなことに気をつけたらいいですか。

署長 電話は、火事と同じで119番です。そして、場所はどこか、病人やけが人はどんな状態かなど、できるだけ詳しく知らせるようにしてください。



救急車の中の説明を聞くちびっ子記者



“火事”と知ったら 一分以内に出勤



いつでも出動できる消防車と救急車

署長 それでは、この建物や救急車などの中が、どのようになっているのかを説明しましょう。

まず、2階のこの部屋は事務室で、職員は全部で43人います。消防署は夜の仕事があるため、交代で休みます。

1階正面のこの車庫には、消防車4台と救急車1台が入っていますが、このほかにも救急車

が1台と普通の自動車4台あります。消防車や救急車は、いつでも出動できるように毎日点検します。

車庫のとなりには、通信室と仮眠室があります。

竹田 通信室や仮眠室は、どのようになっていますか。

署長 通信室は、火事や救急の連絡が入ってくるところです。

知らせを受けると消防車や救急車の出動を指令します。そのほか、警察署や電力会社などにも連絡したりします。

仮眠室は、18人分のベッドが

並んでおり、夜中に火災が発生しても、すぐに出勤できるように服を着たまま休む部屋です。

火災の時は眠っていても、大きなベルの音で目がさめます。

ベルが鳴って出動するまでの時間は、40秒から50秒です。

それから、廊下に掛けてある銀色の服は、防火服といって火災の時に消防士が着るものです。火から体を守るために、大変燃えにくくできています。

そばにある帽子や長ぐつも同じです。長ぐつの底は、くぎなどを踏んでも簡単にささらないようにできています。

竹田・古瀬 きょうは、ぼくたちの生活を守ってくださっている消防署の仕事が、どんなに大変かよくわかりました。

ぼくたちも、これから火事や事故を起こさないよう、もっと気をつけたいと思います。どうもありがとうございました。



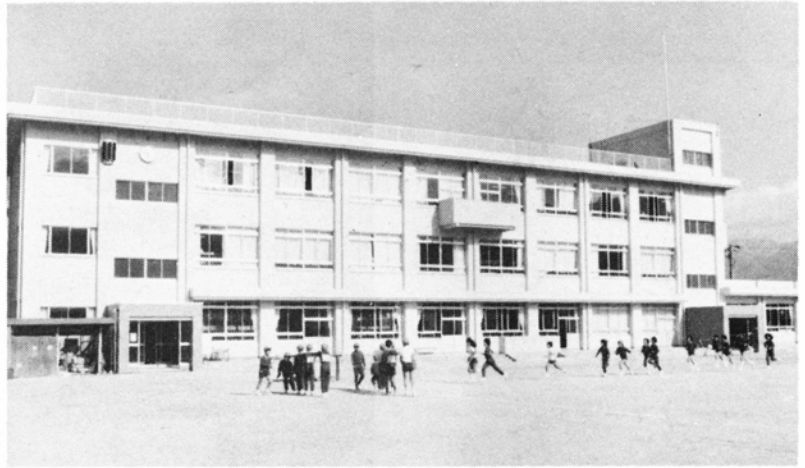
仮眠室



燃えにくい防火服

上庄小学校

わたしたちの
学校です



上庄小の校舎

新しい学校

6年 伊東 満

ぼくたちは、4月から新校舎で勉強しています。ぞうげ色で3階建てのかわいい校舎です。12月中には体育館も完成します。連合音楽会の練習は、体育館がないので、せまい視聴覚室でやりました。

中庭や遊具は、夏休みに父兄の人に造ってもらい、とても立派になりました。

中庭には芝生が植えてあり、大きな池にはふん水もあります。ぼくたちは、この庭を“いこいの庭”と呼んでいます。

遊具には大きな電柱で作った

ものもあり、カラフルな色がぬられています。

新しくなったのはそれだけではありません。それは“新上庄っ子”になったことです。新上庄っ子とは、表に10項目のきまりが書いてあり、それを守れた項目に○印をつけることです。

新しくなった校舎で、ぼくたちは、これまでの伝統を大切にしながら、新しいこともどんどんやっていきたいと思えます。

すばらしい 親子農園

6年 伊藤 美由起

わたしたち上庄小学校では、今年から学校から少し離れた所の田んぼを借りて、親子農園というのを始めました。

農園には、5

・6年生の児童とその親が協力して、豆・里いも・トウモロコシ・白菜などを作ってきました。

豆や里いもは、給食の時に全校で分けて食べました。

白菜作りは、夏休みに黒い小さなビニールのカップに種をまき、1ヵ月ほどたって苗の移植をしました。田んぼには、水がたまって、短くつでは入れません。はだしになって一つ一つ手で穴を掘り、ていねいに植えました。

そして、11月に収穫し、箱づめや袋づめにして、上庄のクミアイ祭やスカイモールなどで売りました。

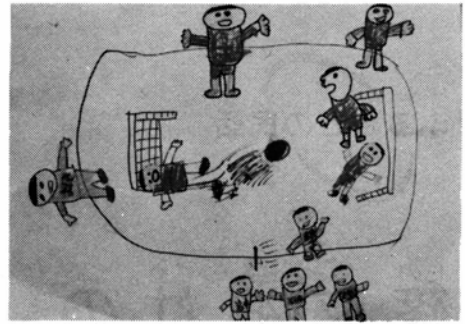
売上金は、全部で約10万円にもなりました。

このお金が、わたしたちの学校のために使われるのかと思ううれしくてたまりません。

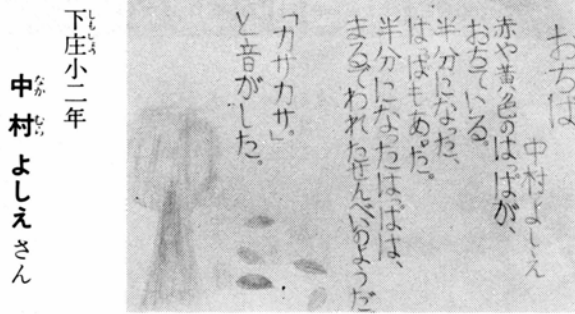
来年も親子農園をやって、上庄小学校の伝統行事にしたいとみんな張り切っています。



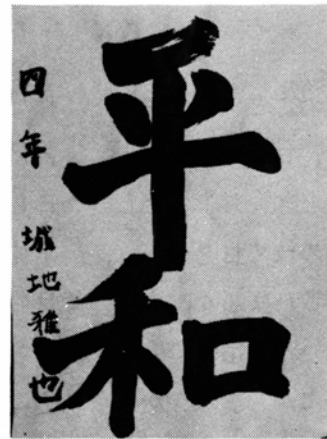
人気を呼んだ白菜売り



有終西小1年 熊井健二君



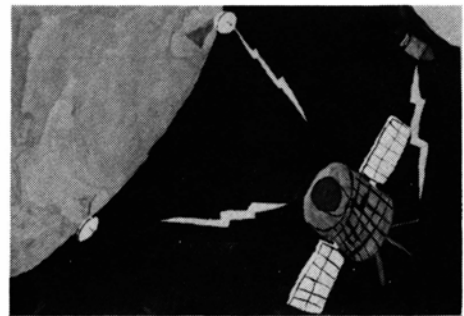
下庄小2年 中村よしえさん



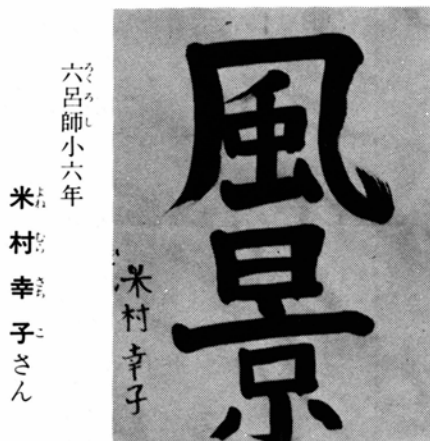
藏生小4年 城地雅也君



小山小3年 松田宏美さん



上庄小5年 石黒将司君



六呂師小6年 米村幸子さん

あなたの作品も紹介します

次回の子ども新聞“大野っ子”は、来年3月に発行します。みなさんの作品や話題などを紹介しますので、市役所企画広報課（6-1111 内線254）へお知らせください。

篠座神社の

め ぐすり 目 薬



篠座神社の御神水

昔々、神代のこと、大國主命という神様が、竹やぶの中を歩いておられるとき、ちょっとしたはずみに竹の枝で目を突かれひどくけがをされました。

命は、いろいろと治療に力を尽くされましたが、なかなか治らず大変長い間不自由されました。やがて、命の目は治りましたが、長い間不自由な思いをさ

れた命は「民の中にも目の病で苦しんでいる者は多かろう。一日も早く治してやりたい」と篠座神社の境内に、どんなひどい目の病にもよくきくという霊水をおわかしになりました。

これを伝え聞いた目の不自由な「おとくばあさん」は、つえを頼りにやって来ました。

おばあさんは、恐る恐るひざ

まずいて水をすくい、そっと目を洗いました。冷たい水の感触は、歩き疲れた体にじんとしみわたるようでした。

「ああ、極楽さまじゃ。おばの目もこれで治るわい。ありがたいことじゃ」と、何回もていねいに洗うのでした。

すると辺りがだんだん明るく感じ、ふさがっていた目も開くようになるではありませんか。

おばあさんは、たいそう喜んで早速神様にお参りし、何度も何度もお礼を申し上げました。

その日から、おばあさんは毎日この水で目を洗い、神様に祈りすると、ひどかった目の病気がすっかり治ってしまったそうです。

このことが語り継がれて、今でもこの水で目を洗う人が絶えません。

そして、毎年10月10日の「目の愛護デー」には「目の祈願祭」が盛大に行われています。

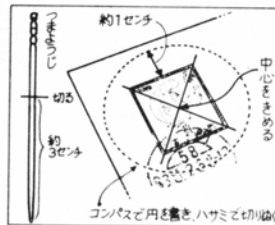


切手ゴマを作ろう!

紙で遊ぼう

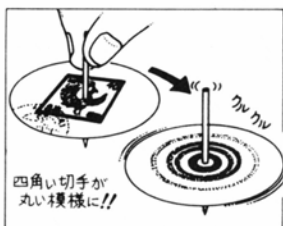
①切手を使って、手作りのゴマを作ってみませんか。用意するものは、ハガキや封筒にはってある使用済の切手、それにハサミ、コンパス、つまようしです。

②作り方は簡単。まず、切手の中心を決め、そこからコンパスで円を書きます。円は、切手から1センチくらい離れたほうがいいでしょう。



③円が書けたら、ハサミで切り取ってください。次に、切り取った切手の中心につまようしを差し込む切り込みをつけます。つまようしの長さは3センチくらいがよいでしょう。

④さあ、でき上がり。つまようしをつまんで、クルッと回してみましょ。四角い切手が丸い模様になり、とてもきれいですよ。切手以外のもので作ると、どんな模様になるのかな? いろいろ試してみましょ。



四角い切手が丸い模様!!